

〔在日米軍兼第5空軍司令官 スティーブン F. ジョスト中将 殿
在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
リチャード F. マックエルハニー 大佐 殿

東京都福生市長 加藤 育男

東京都福生市内に落下したパラシュートについて（抗議）

このことについて、令和7年11月20日（木）、福生市内の熊川児童館敷地内及び屋上に、米軍の主降下傘及び誘導傘（パイロットシュート）が落下する事故が発生した。

今般の事故は、令和7年12月1日（月）に熊川児童館屋上で熊川児童館職員が当該誘導傘（パイロットシュート）を発見したことにより発覚したものであり、防衛省北関東防衛局に発生時の状況等について説明を求めたところ、「11月20日（木）に米軍兵士が空挺降下訓練中に主降下傘を切り離した後、予備降下傘を使用して横田基地に着地した。切り離した主降下傘は風によりコースを外れ、横田基地外に落下した。当該降下傘については、米軍が同日夜に福生市内熊川児童館敷地内で回収した。また、熊川児童館屋上で発見されたものは、この着地に関連する誘導傘（パイロットシュート）であった。」とのことである。

横田基地では、平成30年4月に羽村市内で発生したパラシュートの落下、平成31年1月に2日続けて発生したパラシュートの落下及び部品遺失、令和2年7月に立川市内で発生したパラシュートの落下及び福生市内で発生したフィンの落下、本年11月18日に羽村市内で発生した場外降着及びパラシュートの一部の落下、そして、この度の落下事故が発生するなど、降下訓練に起因する事故が多発している。

福生市では、東京都及び周辺自治体と連携して、その都度、事故原因の究明、再発防止のための措置、安全確保の徹底及びこれらに関する情報を関係自治体に速やかに提供することを強く要請している。

今般の事故は、原因究明と再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないことを再三要請してきた中で、本年11月18日に発生した場外降着について徹底した点検を実施し、パラシュート降下運用の安全性について確信が得られたため訓練を再開すると連絡を受けたその日に、子どもたちが集う児童館の敷地内で発生した、人命に関わりかねない大変重大な事故であり、また、事故発生に関する情報が米軍側から一切提供されないまま秘匿されていたこと及び許可なく市公共施設の敷地内に侵入していたことは、極めて遺憾である。

横田基地周辺は人口が密集した市街地であり、市民は航空機騒音に悩まされ、いつ発生するか分から事故に不安な毎日を送っている。

市民の安全、安心を守る立場から、このような事故の発生及びこれまでの周辺自治体からの要請に対する対応は、真摯なものではなく、看過できるものではない。このことに対して、強く抗議する。

速やかに、今回の事故の発生状況を調査し、徹底した原因究明を行い、再発防止策を講じるまでは、同様の訓練の中止を求めるとともに、これらのことについて、迅速かつ丁寧な説明を行うよう、強く求める。

また、基地の運用は、「安全」が最優先事項であることについて、改めて認識し、今後とも、周辺住民に不安や危険を与えることのないよう、基地運用に関して、安全対策の徹底を図ることを強く求める。